

2011年度 な～に谷っ戸ん田 第27回目 雨の中の稲刈り

とき： 平成23年10月22日(土) 9:30～17:30

ところ： 谷っ戸ん田・一番上のビニールハウス内

天気： 雨のち曇りちよいと晴れ間

参加者： 石田+ヒデ(午後) 磯、梅下+ヒナ、コウ、ユウ、霧生(午後) 久保、坂本、
高田(直) 高橋、松本夫妻、吉田(夕方) 佐々木、園主
大人13名、子ども4名

本日の作業 午前：稲刈り(喜寿) 早めのお昼

午後：残りの稲刈り、二つに分かれて、すずめよけ、終了後、籾摺りに合流

午前：雨の中、稲刈りを決行。段取りは、ポニーを立てる。稲刈り機を入れるので、手刈りで隅を刈る。雨の作業なので、稲を刈る人、束ねる人、運んで掛ける人とわけて効率よくやりましょう。田んぼの状態は雨のため、かなりの水がたまっており、地面も凸凹しているのです、ネコを引くのも歩くのも大変でした。束ねた稲を運ぶも雨で水を含んでいたのです、かなり重たかったです。小耳に挟んだ会話ですが、クボタのお兄さんが「タイではこんな中で稲刈りをしますよ!」と興奮気味。テツさん「・・・」いつもの微笑み。稲刈り機が登場し、ホッとしたのも束の間、作動しなくなりました。紐がきれたとかで、我々では直せないとのこと。雨も本降りとなり、休憩をとることにしました。段取りの選択をしました。このまま続ける。早いお昼にする。お昼にすることになり、手刈りの時は、奥の方からすることとして、今畦にある稲を掛けて午前中は終了となりました。

作業小屋にて各自お昼

午後：なんと雨が上がり、午前よりは、気持ちがいい。田んぼに急ぐとクボタの上着を着たテツさんがすでに機械を直し中で、動き出したら一人で全部刈ってしまいました。久保さんが小川側の畦を一箇所切り、田んぼの水を流しました。途中、テツさんが「そっちに稲を持って行かないで、こっちにポニーをたてるよ」といいました。なるほど、その方が楽に決まっている。気がつかないんだな。こんな時・・・機械で稲刈りが終わったあとに「こんな稲刈り初めてだよ」の捨て台詞が頭から離れません。

掛けた稲からポタポタと落ちる水滴。落穂も拾ったけどいつもと勝手が違いすぎ戸惑いました。小休止のあと、糸張り組みと籾摺り組みに分かれて、作業を開始!

その後、ひたすら籾摺り機で籾摺りをしました。籾の入れすぎに注意と、たまに網をきれいにしあげる事など。米を計るのに籾一袋に対して玄米1袋22kgでした。それを11袋作ることを念頭におき、時間との格闘でした。最終の分け前は、25.5kgでした。

次回 10月29日(土) 畑の作業、ロッカーの移動、もち米の脱穀
記録 チャリママ・佐々木